

私にも  
言わせて!  
第132回

おもしろきこともなき世を  
おもしろく



松江市・島根県  
共同設置松江保健所  
医事・難病支援課  
石倉 凱

1992年神奈川県に生まれ、1994年より鳥取県で育つ。2017年鳥取大学医学部医学科卒業、松江市立病院(島根県)で初期臨床研修。小児科志望であったが、麻酔科指導医の働く姿・指導態度に引かれ麻酔科に変更。2019年に島根大学医学部麻酔科学講座へ入局。診療を通して、病気に苦しむ人を減らすために予防医学が重要だと考え公衆衛生を志す。2022年より現職。

初めまして、石倉凱と申します。私は「食わず嫌いをしなご」をモットーに広く深く、ジャンルや新旧問わずあらゆるものに出会うことを趣味としています。そして、それらを自身の思考や行動に反映させるよう心掛けています。この「私にも言わせて」の場をお借りして、日頃考えているこの一部を言わせていただきたいと思います!

はつめい

「期待の若手」とありますが、私は「若手」に期待するのではなく「私」に期待してほしいと考えています。そのためにも、私がどのような考えを持った「私」なのか、これまで出合った素敵な言葉とともにアピールさせていただきたくて、「できるかできないかじゃなくて、やるんだよ!」

私はアーティスト「ゆず」のファン(ゆずっこ)です。その大好きなゆずが2012年に「15周年記念ドームツアー」を行い、その中

観客をステージに上げて一緒に踊るといふ演出がありました。大学生になり初めて参加したゆずのライブでのその演出は、ファンとしてはとてもうれしく印象的なものでした。しかし、ライブから数か月後にリリースされたライブDVDには、私の想像に反して、その演出についてもめているスタッフ会議がメイキング映像として収録されていました。

リーダーの言葉

デビュー15周年を記念して、支えてくれているファンを楽しませるための特別な演出として、リー

思考を止めないことが重要だと考えています。

Plus Ultra!  
〜やうじやうじやう〜

「生贄・人柱」から「治水事業」へなど、それらは当たり前だと考えられていた「常識」を疑うことで覆りました。特に公衆衛生分野では、コレラまん延の原因を究明したジョン・スノウの活躍があります。彼の偉業は、古代から中世期まで長らく常識であった、『瘴気説』(感染症は有毒な気体が空気を伝わりもたらされる)を疑うことから始まっています。

疫学の父の教え

ジョン・スノウから得られる学びは2つあると考えています。1つ目が先に述べた「常識を疑うこと」です。私の考える「常識」とは「すでに結論が出ており、思考が止まっているもの」です。つまり常識を疑うとは「すでに出ている結論に対して疑問を持ち、思考を止めない」とこととなります。情報収集、思考の結果得られた「常識」とは異なる結論に対して、思考を止めたままの人が「非常識」だと否定をします。しかし、当時の「非常識」が後に「常識」として認められた歴史は多く存在します。いわゆる「非常識」になることを恐れず、

ダー(北川悠仁)がファンをステージに上げようことを提案しました。しかし、運営スタッフからは「犯上、運営上の理由など」できない「理由が挙がり猛反対を受けます。それを受けたリーダーの発言が印象的でした。」さつきから、あだからできない、こうだからできないって言ってるけど、やるんだよ! やるためにどうするか考えようよ!」と。そのリーダーの言葉は私にとって衝撃的で、大切な言葉となりました。

未来から描く

リーダーの言葉は私の行動の基本方針となっており、その言葉に出合っで以降は「やりたいこと・やるべきこと」に対してできるか・できないかは考えず、どうすれば実現できるのかを考えるようになりました。実現させることから考えてみると、そのために必要なも

ています。

「オレの名は、」

漫画『ARMS』(皆川亮二作、小学館、少年サンデーコミックス、全22巻)という作品をご存じでしょうか。ある巨大な陰謀のためにARMS(アームズ)と呼ばれるナノ兵器を身体に移植された少年少女たちが、その兵器の存在に苦しみながらも陰謀に立ち向かっていく作品です。ある回で一般人が残る市街地での戦闘中、群集心理を利用した敵の策略のせいで民衆が暴徒化し、主人公の少年少女たちを襲います。それを一人の刑事が言葉によって鎮めるシーンが印象的でした。

一人一人の尊厳

暴動を止めに入った刑事に対して民衆が、一般市民を救えなかった警察が出しゃばるなど怒鳴りますが、その刑事は警察手帳を投げ捨ててこう言います。「オレの名は、兜光一だ!!」。続けて「オマワリなんて肩書きじゃねえ!! オレは世界でたった一人の兜光一として行動してんだ!!」と。そして、民

のが見えてきて、その必要なもののために何が必要なのかを考え、自然とロードマップが描かれています。その過程でできないと判断した場合は、できるに変える方法を考えるようにし、簡単にできないとは決め付けられないよう心掛けています。

「歴史は形を変えて繰り返す」

今年4〜7月に国立保健医療科学院での研修を受講しました。その研修で最も印象に残った言葉が、曾根院長から頂いた「歴史は形を変えて繰り返す」です。過去に生じた問題は再度発生する可能性があり、その対応について学び備えておくことは重要だという教えでした。ただ、私が思った歴史とは「災害発生」や「感染症の流行」ではなく、「常識は覆る」という歴史です。『天動説』から『地動説』へ、

衆一人一人に名前を問う掛けまです。名前を答えずとも戸惑う民衆に対して「一般市民なんて顔の見えない名前で自分を呼ぶもんじゃねえ」と声を掛け、一人一人が自分自身として行動をするよう論じ、民衆は冷静を取り戻し事態は収束しました。

私は「私」として

私たちは集団生活の中にいて、つい自分を国民、職員などと総称で呼んでしまいます。しかしそうではなく、「私」自身が何を考え、どう行動するのが重要だと彼の言葉から学びました。一方で、相手のことを顔も見えない総称で呼ぶことの寂しさも感じました。

諸先輩方が期待するのが「若手(顔の見えない総称)」ではなく「私(石倉凱)」となるように、これまで出合った、そしてこれから出会う素敵な言葉や経験を糧として精進していきたいと思えます。よろしくご指導ご鞭撻のほどお願いします。